



愛玩動物看護師法が令和4年5月1日に施行され、国家資格としての愛玩動物看護師が誕生することとなった。これによって獣医療においても有資格者（獣医師、愛玩動物看護師）によるチーム獣医療体制が構築されることとなる。

さらに愛玩動物看護師は、獣医療のみならず、国際社会が取り組む one health（ワンヘルスアプローチ）に関しても、今後動物側の中心的な役割を担うことが予想される。

令和4年11月6日には第1回愛玩動物看護師国家試験予備試験が実施された。そしていよいよ、令和5年2月19日に第1回愛玩動物看護師国家試験が実施される。問題数は200問で、愛玩動物看護師として特に重要かつ基本的な事項を問う問題が必須問題として50問程度、現場で実際に起こり得る症例・事例に対する対処方法等の総合的な事項を問う問題が、実地問題として50問程度、残りは愛玩動物看護師に求められる知識及び技能を問う一般問題である。

ここ数年はCOVID-19のパンデミックにより、教育機関は試行錯誤の連続で、なかでも国家資格にかかわる高等教育機関は特に大きな影響を受けた。COVID-19のパンデミックの最中に愛玩動物看護師を目指して入学し、突然のオンライン講義や制約の多い実習に耐えて第1回愛玩動物看護師国家試験に臨む学生諸君に、大学人として何ができるか、何かしなければとの思いから本書を企画した。

現役の在学者のみならず、既卒者や実務経験5年以上の現認者の学び直しにも対応できるよう図表を多く取り入れ、ポイントをイラストや表で示した。執筆はすべて、教育または臨床の第一線で活躍されている現役の先生方をお願いした。おかげで愛玩動物国家試験出題基準を完全に網羅したうえで、資格取得後の実務にも役立つ内容となった。

知りたい情報に素早くアクセスするために、巻末には出題基準との対照表も付け加えた。国家資格取得に向けての知識の整理やポイントの確認に活用してほしい。

最後に、ご多忙のなかタイトなスケジュールにもかかわらず快く執筆を引き受けてくださった執筆者の先生方、ならびに学研グループ（株）Gakken メディカル出版事業部の皆様、特に編集部の黒田周作氏に衷心より感謝申し上げます。

2022年11月

編集責任

藤村響男

（ヤマザキ動物看護専門職短期大学動物トータルケア学科教授、北里大学 客員教授）